

補足情報

DISPLAY P2415

(VL-P2415)

目次

はじめに	4
1 本製品の特長	6
使用方法	8
2 各部の名称と機能	10
3 ディスプレイドライバー／ LAN ドライバーのインストール ...	13
初めて電源を入れるとき	13
最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする	13
最新の LAN ドライバーをダウンロードしてインストールする	13
4 ディスプレイの設定	14
人感／明るさセンサー機能	14
ECO モード機能	16
ボタンロック機能	16
細かい設定を行う	17
5 LAN 接続	26
通信	26
Wake on LAN 機能	26
MAC アドレスパススルー機能	27
6 コンピューター本体切替機能（KVM スイッチ）	28
2 台のコンピューターを接続する	29
表示するコンピューターを切り替える	30
7 デイジーチェーン機能	31
8 PC- ディスプレイ電源連動機能	32
設定する	33
電源ランプについて	34
9 省電力機能	35
10 トラブルシューティング	36
画面がおかしい	36
画面が調節できない	37
音が聞こえない／変な音が聞こえる	37
その他	38
11 日常のお手入れ	39
清掃する	39
12 リサイクル	40
13 付録	41
アームまたは壁掛けキットの取り付け方法	41

14 仕様 45

 本体仕様 45

 標準表示仕様 46

 コネクタ仕様 47

 外形図 49

はじめに


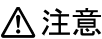
このたびは、弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

■ マニュアルについて




- ・ ディスプレイの設置、接続までは『取扱説明書』をご覧ください。
『取扱説明書』の「使用上のご注意」も必ずお読みください。
- ・ 画質の設定などの技術情報は、このマニュアルをご覧ください。

■ 警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。



	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
VL-P2415	本製品

■ 商標および著作権について

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。



VESA は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright Fujitsu Limited 2026

1 本製品の特長

1 In-Plane-Switching パネル採用

見る位置や角度による色合いやコントラストの変化が少なく、色鮮やかな画面を表示します。

2 ブルーライト／チラツキ低減機能

目の疲れを低減する機能です。

第三者認証機関であるテュフラインランドによるローブルーライト機能およびフリッカーフリー設計の認証を取得しています。

POINT

▶ ブルーライトカットモードに関する注意

このディスプレイには「ブルーライトカット機能」があります。ブルーライトカット機能は OSD メニューで選択できます。「ブルーライトカット」機能を使用すると、ディスプレイからのブルーライトの放射量を最小限に抑えられます。

3 人感／明るさセンサー機能

人感センサーは、人を感じて、離席すると自動的に画面オフに切り替える機能です。

明るさセンサーは、室内の明るさを感じて、輝度を最適な状態に自動調整するオートブライトコントロール (ABC) 機能を搭載しています。

両機能を併用することで、効率よく無駄な電力消費を抑制できます。

4 デイジーチェーン機能

DisplayPort コネクタを使用して、ディスプレイを最大 2 台まで接続する機能です。

5 節電機能 (ECO モード)

ECO モードを「オン」にすることで、電力を約 50%削減できます。

6 スピーカー内蔵

ステレオスピーカーを内蔵し、立体感のあるサウンドでマルチメディア環境を実現します。

7 sRGB 対応

ディスプレイとプリンター／スキャナー／デジタルカメラなどの機器との色再現性を合わせる国際規格である、sRGB での表示が可能です。

POINT

▶ sRGB とは、ディスプレイ／スキャナー／デジタルカメラなど周辺機器どうしの色再現性や、プリンターで出力するときの色を合わせることを目的にした、色の表現範囲を規定するための国際規格です。

sRGB の設定については「MODE」(→ P.23)をご覧ください。

8 多彩なインターフェース対応

DisplayPort (HDCP 対応)、HDMI (HDCP 対応)、USB UP コネクタ 2 個、USB DOWN コネクタ 4 個、および LAN コネクタを搭載しています。USB DOWN コネクタおよび LAN コネクタを使用するときは、USB UP コネクタとコンピューターを USB ケーブルで接続してください。

9 多彩な設置方法

- ・ VESA の FDMI 規格に対応しています。FDMI 規格に準拠したアームまたは壁掛けキットに取り付けることができます。

POINT

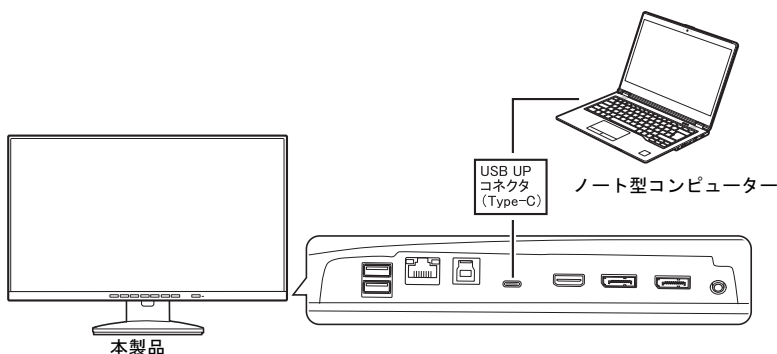
- ▶ 「VESA FDMI」とは「VESA Flat Display Mounting Interface」の略で、液晶ディスプレイをアームまたは壁掛けキットに取り付けるインターフェースです。
インターフェースとしては 75mm×75mm と 100mm×100mm の 2 種類あります。本製品は、100mm×100mm に対応しています。
- ・ 最大 150mm のハイト機能を搭載しています。上下方向の最適な位置に高さ調整することができます。また、画面を 90° 回転させて縦長の画面に設定することができます。

10 USB Type-C ケーブルを使ってシンプルな接続で多くの機能を実現

- ・ USB Type-C 経由でコンピューターからの映像信号 (DisplayPort) を入力することができます。
- ・ USB Type-C からコンピューターへ電源供給
最大 95W (20V、4.75A) の供給可能な USB Power Delivery に対応しています。接続しているコンピューターへの電源供給が可能です。
- ・ コンピューター本体切替機能 (KVM スイッチ)
2 台のコンピューターを本製品に接続したとき、本製品に接続された 1 組のキーボード、マウスなどの USB 機器と LAN 接続を、コンピューターの表示に合わせて切り替えて使用することができます。
- ・ USB Type-C コネクタ 1 個、USB Type-A コネクタ 3 個のダウンストリームをサポート
USB3.2 (Gen1) ハブを搭載しており、USB 高速デバイスを接続できます。
USB Type-C は USB デバイスに 15W の電源供給ができます。

POINT

- ▶ 接続しているコンピューターが、それぞれの機能をサポートしている必要があります。
- ・ ケーブル 1 本でノート型コンピューターと接続
＜おすすめの接続例＞



添付の USB Type-C ケーブル 1 本の接続で、ノート型コンピューターのセカンドディスプレイとして使用することができます。ノート型コンピューターには、USB Type-C コネクタ (Gen1、DisplayPort Alternate Mode 対応) が必要です。

USB Power Delivery 対応なので、本製品からノート型コンピューターに電源供給ができます。最大 95W (20V、4.75A)。

会議などでのノート型コンピューターを持ち運ぶときや、セキュリティ管理のために保管場所へ出し入れするときなど、USB Type-C ケーブル 1 本を抜くだけで、ノート型コンピューターを移動させることができます。

使用方法

ディスプレイを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。ディスプレイをお使いになるときは疲労に注意し、適切な環境で作業してください。



■ ディスプレイ

- ・ 外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないように、窓にブラインドやカーテンの取り付けや、画面の向きや角度の調整をしましょう。
- ・ 画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調整しましょう。
- ・ ディスプレイの上端が目と位置と同じかやや低くなるようにしましょう。
- ・ ディスプレイの画面は、顔の正面にくるように調整しましょう。
- ・ 目と画面の距離は、50cm 以上離すようにしましょう。

■ 使用時間

1 時間以上続けて作業しないようにしましょう。続けて作業をする場合には、1 時間に 10 ～ 15 分程度の休憩時間を取りましょう。そのとき、目の体操やできるだけ遠くを見るようにし、目の疲れやドライアイを予防しましょう。また、休憩時間までの間に 1 ～ 2 分程度の小休止を 1 ～ 2 回取り入れましょう。

■ 入力機器

キーボードやマウスは、ひじの角度が 90° 以上になるようにして使い、手首やひじは机、椅子のひじかけなどで支えるようにしましょう。

■机と椅子

高さが調節できる机や椅子を使いましょう。調節できない場合は、次のように工夫しましょう。

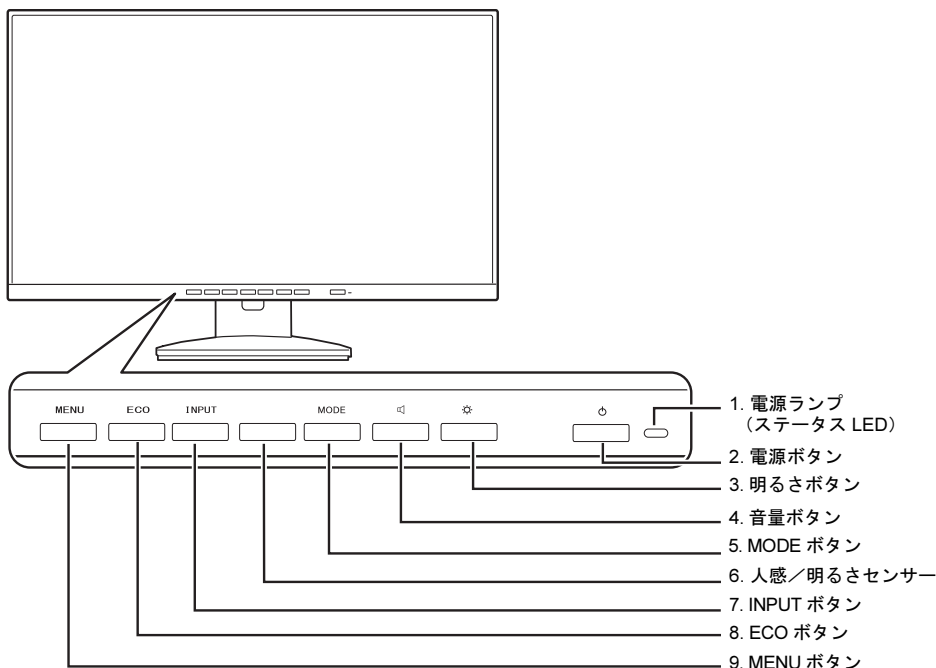
- ・机が高すぎる場合は、椅子を高く調節しましょう。
- ・椅子が高すぎる場合は、足置き台を使用し、低すぎる場合は、座面にクッションを敷きましょう。
- ・椅子は、背もたれ、ひじかけ付きを使用しましょう。

■作業スペース

机上のディスプレイの配置スペースと作業領域は、充分確保しましょう。スペースが狭く、腕の置き場がない場合は、椅子のひじかけなどを利用して腕を支えましょう。

2 各部の名称と機能

■ 前面



1 電源ランプ (ステータス LED)

本製品の電力状態、PC-ディスプレイ電源連動機能の使用状態を表します。

「PC-ディスプレイ電源連動機能」(→ P.32)

「省電力機能」(→ P.35)

2 電源ボタン (⏻)

- ・ PC-ディスプレイ電源連動機能を使用していない場合

本製品の電源オン／オフを切り替えます。

- ・ PC-ディスプレイ電源連動機能を使用している場合

電源ボタンを押すことで、コンピューターの電源をオン／オフすることができます。

3 明るさボタン (☀️)

メニューが表示されていないときに押すと、明るさ調整の画面が表示されます。

メニュー画面上で各項目や設定値を変更するときに押します。

4 音量ボタン (🔊)

メニューが表示されていないときに押すと、オーディオ調整の画面が表示されます。

メニュー画面上で各項目や設定値を変更するときに押します。

5 MODE ボタン

メニューが表示されていないときに押すと、画面モード選択画面が表示されます。
メニュー画面上で各項目や設定値を変更するときに押します。

6 人感／明るさセンサー

周囲の明るさと人を感じます。

「人感／明るさセンサー機能」(→ P.14)

7 INPUT ボタン

メニューが表示されていないときに押すと、入力信号を切り替えることができます。

メニュー画面上で各項目を変更するときに押します。

コンピューター本体切替機能 (KVM スイッチ) が使用可能な状態のとき、INPUT ボタンを長押しすると、表示するコンピューターを切り替えることができます。

「コンピューター本体切替機能 (KVM スイッチ)」(→ P.28)

8 ECO ボタン

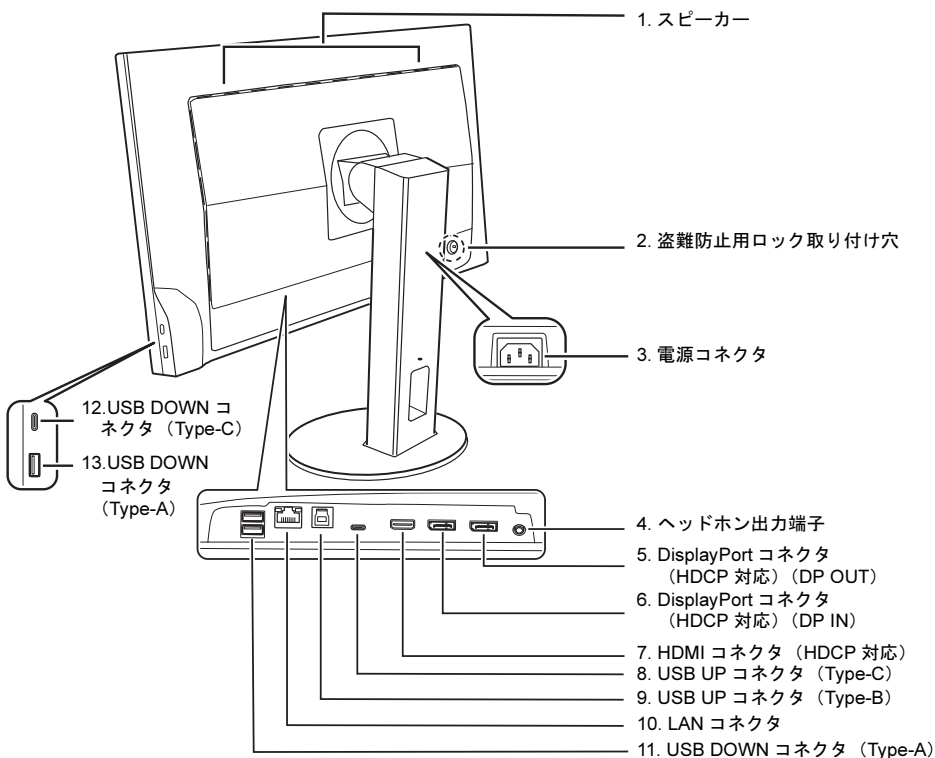
メニューが表示されていないときに押すと、ECO モードのオン／オフを切り替えることができます。

「ECO モード機能」(→ P.16)

9 MENU ボタン

メニュー画面を表示、調整項目を選択するときに押します。

■ 背面



1 スピーカー

音声を出力します。

2 盗難防止用ロック取り付け穴

市販の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。

3 電源コネクタ ()

添付の電源ケーブルを接続します。

4 ヘッドホン出力端子 ()

ヘッドホンを接続して使用します。

5 DisplayPort コネクタ (HDCP 対応) (DP OUT)

デジタイゼーション機能を使用する場合に、2 台目のディスプレイと DisplayPort 信号ケーブルで接続します。

POINT

▶ HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DisplayPort、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本製品は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを表示することができます。

6 DisplayPort コネクタ (HDCP 対応) (DP IN)

コンピューターと添付の DisplayPort 信号ケーブルで接続します。

7 HDMI コネクタ (HDCP 対応) ()

コンピューターと添付の HDMI ケーブルで接続します。

8 USB UP コネクタ (Type-C) ()

コンピューターと添付の USB Type-C ケーブルで接続します。

9 USB UP コネクタ (Type-B) ()

コンピューターと添付の USB ケーブルで接続します。

10 LAN コネクタ ()

ネットワーク機器と LAN ケーブルを接続して使用します。

添付の USB ケーブルでコンピューターと USB UP コネクタ (Type-B) を接続する、または添付の USB Type-C ケーブルでコンピューターと USB UP コネクタ (Type-C) を接続すると、ご使用になれます。

11 USB DOWN コネクタ (Type-A) ()

USB 機器を接続して使用します。

12 USB DOWN コネクタ (Type-C) ()

USB 機器を接続して使用します。

13 USB DOWN コネクタ (Type-A) ()

USB 機器を接続して使用します。

注意

- ・ 本製品をご使用中は、不用意に背面ケーブル接続箇所に触れたり、ケーブルの抜き差しを行ったりしないでください。必ず本製品の電源をオフにしてから行ってください。

3 ディスプレイドライバー／LAN ドライバーのインストール

初めて電源を入れるとき

コンピューターに接続後、最初に電源を入れたときに、本製品のディスプレイドライバー（INF ファイル）のインストールを要求されることがあります。この場合、画面の指示に従って一度「プラグアンドプレイモニター」として設定を完了させ、その後ディスプレイドライバーのダウンロード／インストールを行ってください。

POINT

▶ お使いの OS の INF ファイルがない場合は、そのまま「プラグアンドプレイモニター」としてご使用ください。

最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする

最新のディスプレイドライバー（INF ファイル）は、「ドライバダウンロード」のページ（https://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html）よりダウンロードできます。「ディスプレイ」からお使いの型名（VL-P2415）を検索してダウンロードし、インストールしてください。

最新の LAN ドライバーをダウンロードしてインストールする

最新の LAN ドライバーは、「ドライバダウンロード」のページ（https://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html）よりダウンロードできます。「ディスプレイ」からお使いの型名（VL-P2415）を検索してダウンロードし、インストールしてください。

4 ディスプレイの設定

人感／明るさセンサー機能

人感／明るさセンサー機能を使うことで、効率よく無駄な電力消費を抑制できます。

■ 注意事項

- ・ 人感センサーは、ランドスケープ表示（横画面）の使用時に人感センサーの位置が最適化されます。ポートレート表示（縦画面）の使用では、正しく動作しない場合があります。
- ・ 人感／明るさセンサーの前に物を置いたり、人感／明るさセンサーおよびその周囲にテープやシールなどを貼ったりしないでください。
- ・ メニュー画面が表示されていない状態で、使用者がディスプレイから約 5 秒離れると、画面が暗くなり始めます。画面が暗くなってから設定した時間が経過すると画面の表示がオフになります。



⚠ 重要

- ▶ 人感／明るさセンサーの前に物があると誤動作することがあります。正しく動作する位置（画面の高さ：センサーの位置）を調整してお使いください。
- ▶ 人感／明るさセンサーがゴミ、ほこりなどで汚れた場合、人感／明るさセンサーが正しく動作しない場合があります。
- ▶ 直射日光や蛍光灯などの強い光が人感／明るさセンサーにあたっていたり、ネックレスなど光を反射しやすいものを身に付けていたりすると、人感／明るさセンサーが正しく動作しない場合があります。

■ 人感センサーを設定する

OSD の「人感センサー」で「検出」を「オン」に設定してください。

1 MENU ボタンを押して、メニューを表示します。

2  ボタンを **2** 回押し、 ボタンを押して、「人感センサー」サブメニューを表示します。



3 ◀/▶ ボタンを押して、「オン」に設定します。



4 距離を設定する場合は、◀ ボタンを押して「距離」を選択し、◀/▶ ボタンを押して、設定値を調整します。

POINT

- ▶ 設定値（センサーから使用者までの距離）の目安

設定値	実際の距離
10	約 40cm
50	約 73cm
90	約 95cm（初期設定値）
100	約 100cm

- ▶ 実際に人を感知した距離に縦線が表示されます。




5 待機時間を設定する場合は、◀ ボタンを押して「待機時間」を選択し、◀/▶ ボタンを押して、設定値を調整します。



POINT

▶ ディスプレイが暗くなり始めて画面がオフになるまでの時間を 10 ～ 120 秒で調整します。

6  ボタンを押して、設定を保存し、メニューに戻ります。

■明るさセンサーを設定する

OSD の「明るさ / コントラスト」で「明るさ自動調整」を「オン」に設定してください (→ P.25)。

ECO モード機能

本製品には、画面の明るさを抑え消費電力を削減する「ECO モード」機能を搭載しています。

■ECO モード

ECO モードを切り替えるときは、ECO ボタンを押してください。オン／オフが切り替わります。



モード名	機能
ECO モードオン (ご購入時の設定)	画面の明るさを抑えて、消費電力を約 50% 低減 (最大電力比 ^注) することができます。 電源ランプは緑に点灯します。
ECO モードオフ	画面の明るさを最大輝度に設定することができます。 電源ランプは青に点灯します。

注 : 通常使用時 (スピーカーオフ、USB 接続なし) における最大電力 (ECO モード「オフ」、輝度最大) 比

ボタンロック機能

本製品には、ボタンをロックする機能が搭載されています。ボタンをロックすることで、無断で設定を変更することができず、誤操作防止が可能となります (ECO ボタンはロックできません)。

■OSD メニューをロックする

本製品の電源がオンの状態で MENU ボタンと電源ボタンを同時に押すと、OSD ロック画面を表示します。プログレスバーがすべて塗りつぶされると、OSD メニューを表示するボタンをロックします (ECO ボタンはロックできません)。



POINT

- ▶ プログレスバーがすべて塗りつぶされる前にボタンを離すと、ボタンのロック操作をキャンセルします。
- ▶ OSD メニューのロックを解除する場合も、同じ方法でボタンを操作します。プログレスバーがすべて塗りつぶされると、電源ボタン以外のロックを解除します。また、プログレスバーがすべて塗りつぶされる前にボタンを離すと、ボタンのロック解除操作をキャンセルします。



■ 電源ボタンをロックする

本製品の電源がオンの状態で、ECO ボタンと INPUT ボタンを同時に押すと、電源ボタンをロックします。

POINT

- ▶ 電源ボタンのロックを解除する場合も、同じ方法でボタンを操作します。

細かい設定を行う

本製品はメニュー画面でさまざまな設定を行うことができます。

■ メニュー画面の基本的な操作

□ ボタンの基本機能

MENU ボタン

- ・ メニュー画面の表示
- ・ 調整項目の決定

ECO ボタン

- メニュー画面が表示されている場合
 - ・ 調整項目の選択
- メニュー画面が表示されていない場合
 - ・ ECO モード切り替え

INPUT ボタン

- メニュー画面が表示されている場合
 - ・ 調整項目の選択
- メニュー画面が表示されていない場合
 - ・ 入力切替画面表示

MODE ボタン

- メニュー画面が表示されている場合
 - ・ 調整項目の選択
 - ・ 設定値の調整
- メニュー画面が表示されていない場合
 - ・ モード切替／調整画面表示

音量ボタン

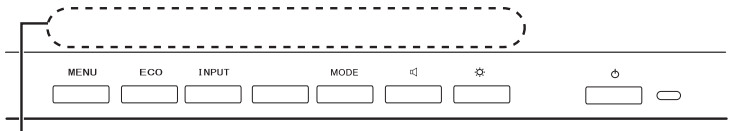
- メニュー画面が表示されている場合
 - ・ 調整項目の選択
 - ・ 設定値の調整
- メニュー画面が表示されていない場合
 - ・ 音量の設定画面表示

明るさボタン

- メニュー画面が表示されている場合
 - ・ 調整項目の選択
 - ・ 設定値の調整
- メニュー画面が表示されていない場合
 - ・ 明るさの設定画面表示

□ 操作方法

設定を変更するときにそれぞれのボタンを押すと、各ボタンが下表のように動作します。操作途中に解像度を変更した場合、操作途中の設定が保存され、その設定内容で画面が表示されます。



操作時、各ボタンにどのような機能が割り振られているかは、この部分に表示されます。

ボタンのすぐ上に表示される操作アイコンを確認のうえ、ボタンを押して設定を変更してください。それぞれの操作アイコンの機能は、次のようになります。

操作アイコン	機能
↑ / ↓	メニュー（サブメニュー）の設定項目を選択する
→	<ul style="list-style-type: none">選択したサブメニューを表示する次の設定に進む機能を実行する
←	前の設定に戻る
+ / -	調整値を変更する
✓	各調整値を確定する
↶	<ul style="list-style-type: none">直前のメニュー画面に戻るメニュー画面を終了する
✕	メニューを終了する

■ 設定項目の内容

ボタンには複数の機能があります。

キー	機能
MENU	画像調整（→ P.19）／ OSD メニュー（→ P.20）／人感センサー（→ P.21）／詳細設定（→ P.21）／情報（→ P.22）
ECO（→ P.16）	ECO モードのオン／オフを設定します。
INPUT	入力信号を選択します（→ P.23）。 「コンピューター本体切替機能（KVM スイッチ）」（→ P.28）
MODE（→ P.23）	画像モードや色に関する設定をします。
音量（🔊）（→ P.24）	音量を調整します。
明るさ（☀️）（→ P.25）	画面の明るさやコントラストを調整します。
電源（🔌）	電源のオン／オフを切り替えます。

■ 画像調整

□ コンピューターのディスプレイ設定で出力フォーマットが「RGB」の場合



□ コンピューターのディスプレイ設定で出力フォーマットが「YCbCr」の場合

POINT

- ▶ 「YCbCr」に設定した場合、「RGB」に比べ画質が見劣りすることがあります。
 - ▶ 「YCbCr」に設定できるかどうかは、接続しているコンピューターのグラフィックスやビデオカードにより異なります。
- 次の操作で「YCbCr」の設定が確認できます。
- ・ デスクトップで右クリックし、「グラフィックス・プロパティ」を選択し、ディスプレイの「色設定」で設定します。
 - ・ デスクトップで右クリックし、「ビデオカードコントロールパネル」を選択し、「出力のカラーフォーマット」で設定します。
 - ・ 「スタート」メニューから「グラフィックスコントロールパネル」を選択し、ディスプレイの「色設定」で設定します。



□ 調整項目の内容

 **重要**

▶「彩度」、「色相」は YCbCr 入力の場合しか表示されません。

名称	機能
鮮明さ	画面の鮮明さを調整します。
彩度	色の濃さを調整します。
色相	色合いを調整します。
拡張	2560×1440 ドット以下の解像度を拡大するときの方法を設定します。
フルスクリーン	入力信号の画面の縦横比に関係なく最大画面サイズに拡大します。
アスペクト比を固定	入力信号の画面の縦横比を保ったまま拡大します（画面上に黒帯が出る場合があります）。
1 : 1	拡大せず画面中央に 1 : 1 で表示します。

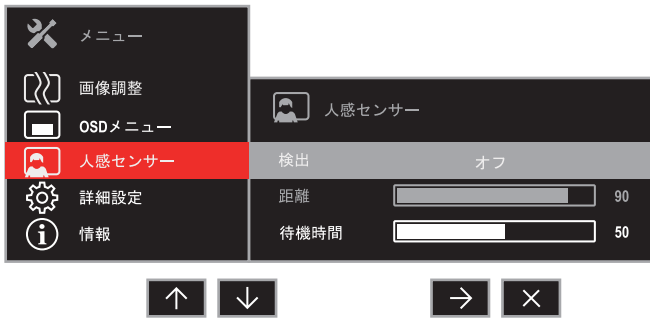
■ **OSD メニュー**



□ 調整項目の内容

名称	機能
言語	OSD メニューやメッセージの設定言語を設定します。
タイムアウト	OSD メニューの表示時間を調整します。
回転	OSD メニューを表示する向き（自動、0°、90°、270°）を設定します。
テーマ	OSD メニューの背景色（ライト、ダーク）を変更します。

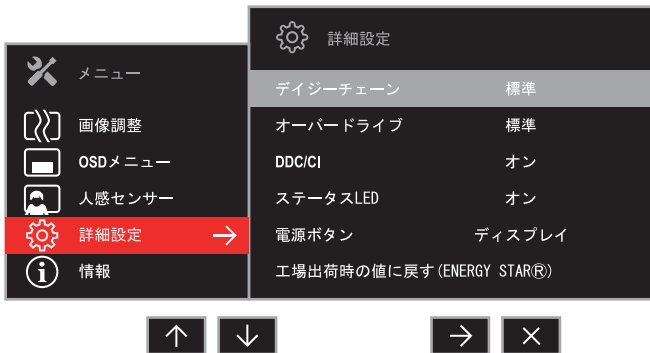
■ 人感センサー



□ 調整項目の内容

名称	機能
検出	人感センサーのオン／オフを設定します。 オンに設定した場合は、次のように動作します。 <ul style="list-style-type: none">・メニュー画面が表示されていない状態で、使用者がディスプレイから約 5 秒離れると、画面が暗くなり始めます。画面が暗くなってから設定した時間が経過すると画面の表示がオフになります。
距離	人感センサーの動作距離を調整します（人感センサーオン時のみ）。 ディスプレイまでの実際の距離を指定し、人感センサーによる検出を最適に調整します。
待機時間	ディスプレイが暗くなり始めて画面がオフになるまでの時間を 10 ～ 120 秒で調整します。

■ 詳細設定



□ 調整項目の内容

名称	機能
デジチェーン	背面にある USB UP コネクタ (Type-C) とコンピューターを接続して、デジチェーン機能を使用する場合の USB の動作を設定します。 通常の使用環境では、標準設定のままご使用いただけます。
標準	ディスプレイに接続する USB 機器および LAN が USB3.2 (Gen1) で動作します。
拡張	ディスプレイに接続する USB 機器および LAN は USB 2.0 で動作します。 デジチェーン機能を使用するとき、ご使用の環境によって画面が正しく表示されない場合に設定します。
オーバードライブ	拡張応答時間をオフ／標準／高速に設定します (動画モード、カスタムモードでしか設定できません)。 この機能を使用すると、高速に動く画像のフォーカスを改善できます。
DDC/CI	VESA DDC/CI 機能をオン／オフします。 本製品は、VESA (Video Electronics Standards Association) の DDC/CI (Display Data Channel Command Interface) 規格に対応しています。
ステータス LED	電源ランプのオン／オフを設定します。 「オフ」に設定した場合、本製品やコンピューターの状態にかかわらず電源ランプは常に消灯状態になります。
電源ボタン	背面にある USB UP コネクタ (Type-C) とコンピューターを接続している場合、本製品の電源ボタンを押したときの動作を設定します。 「コンピューター」を選択した場合、PC- ディスプレイ電源連動機能が有効になり、本製品の電源ボタンを押すことで、コンピューターの電源をオン／オフすることができます (→ P.32)。
工場出荷時の値に戻す	すべての項目をご購入時の設定に戻します。

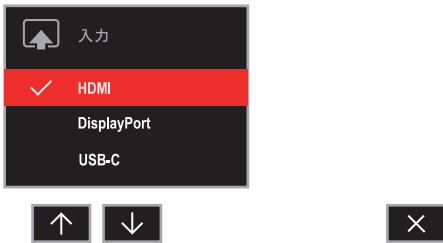
■ 情報

□ 表示内容

名称	機能
Model	「モデル名」を表示します。
S/N	「シリアル番号」を表示します。
Firmware/OSD	Firmware および OSD のバージョンを表示します。
Input	現在入力されている「入力コネクタ」を表示します。
Res	現在入力されている「解像度」を表示します。
H-Freq/V-Freq	現在入力されている「水平周波数」／「垂直周波数」を表示します。
Mode/Color	「画面モード」／「色温度」を表示します。
ECO/ABC	「ECO モード」のオン／オフ、「明るさ自動調整」のオン／オフを表示します。
ACR/Overdrive	「動的コントラスト」のオン／オフ、「オーバードライブ」の設定値を表示します。

Daisy Chain	「デイジーチェーン」の設定値を表示します。
-------------	-----------------------

INPUT



調整項目の内容

名称	機能
HDMI	入力コネクタを「HDMI」に切り替えます。
DisplayPort	入力コネクタを「DisplayPort」に切り替えます。
USB-C	入力コネクタを「USB-C」(USB Type-C)に切り替えます。

MODE



□ 調整項目の内容

名称	機能
D-Mode	レントゲン画像など医療用画像の表示に適した画面モードに設定します。
sRGB	色温度を sRGB に設定します。
ブルーライトカット	ブルーライトの放射量を最小限に抑えた目に優しい画面モードに設定します。
標準	文書を作成するのに適した画面モードに設定します。
写真	写真を表示するのに適した画面モードに設定します。
動画	動画を表示するのに適した画面モードに設定します。
カスタム	色温度を設定します。色温度は、K（Kelvin）で測定されます。
5000 K	色温度を 5000K に設定します。
6500 K	色温度を 6500K に設定します。
7500 K	色温度を 7500K に設定します。
ネイティブ	色温度をパネル固有の値に設定します。
RGB 調整	赤、緑、青の色割合をそれぞれ設定します。

■ オーディオ



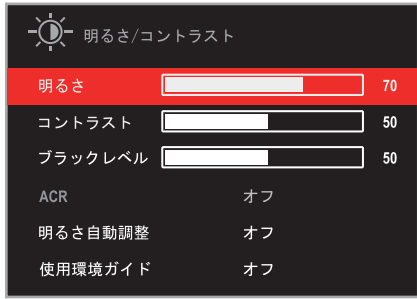
□ 調整項目の内容

名称	機能
音量	スピーカーの音量を調整します。
ミュート	ミュートのオン/オフを選択できます。

 POINT

▶ 省電力状態になると、スピーカーからの音声出力が停止します。

■ 明るさ / コントラスト



□ 調整項目の内容

名称	機能
明るさ	画面全体の明るさを調整します。
コントラスト	画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します。D-Mode、sRGB、ブルーライトカットモード時は調整できません。
ブラックレベル	黒色のレベルを任意に設定できます。D-Mode、sRGB、ブルーライトカットモード時は調整できません。
ACR	動的コントラストをオン／オフに設定します。動画モード、カスタムモードでしか設定できません。
明るさ自動調整	明るさの自動制御をオン／オフに設定します。標準モード、写真モード、カスタムモードを選択した場合のみ、設定できます。
使用環境ガイド	作業場の照明に関するアドバイスをオン／オフに設定します。

5 LAN 接続

本製品には LAN アダプターが搭載されています。

通信

本製品に LAN ケーブルで接続した機器と、USB UP コネクタ (Type-B) または USB UP コネクタ (Type-C) に接続したコンピューターとの通信を行います。USB ケーブルまたは USB Type-C ケーブルで本製品とコンピューターを接続してください。

重要

- ▶ 本製品の LAN アダプターは Windows 11 に対応しています。それ以外の OS は、サポート対象外です。
- ▶ 最新の LAN ドライバーのダウンロード、インストールについては、「ディスプレイドライバー／LAN ドライバーのインストール」(→ P.13) をご覧ください。
- ▶ 本製品の LAN アダプターは、コンピューターの「スタート」ボタン→「設定」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークの詳細設定」→「ハードウェアと接続のプロパティ」を順にクリックし、表示される画面で「Realtek USB GbE Family Controller」と表示されます。
ドライバーの更新やネットワークを設定する場合は、「Realtek USB GbE Family Controller」を選択してください。

Wake on LAN 機能

Wake on LAN 機能とは、他のコンピューターから有線 LAN 経由で、使用したいコンピューターを起動、レジュームする機能です。

本製品の LAN アダプターは、Wake on LAN 機能に対応しており、スリープ状態や休止状態からレジュームすることができます。ご使用できる機能は、本製品を接続しているコンピューターにより異なります。

Wake on LAN 機能を使用するには、コンピューターの Wake on LAN 機能を有効に設定する必要があります。Wake on LAN を有効にするには、「デバイスマネージャー」の「ネットワークアダプター」から「Realtek USB GbE Family Controller」をダブルクリックしてプロパティを表示し、「電源の管理」タブの「このデバイスでコンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする」にチェックを付けてください。また、接続するコンピューターによっては、BIOS の設定を変更する必要があります。詳しくは、LAN ドライバーのインストール手順書またはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

重要

- ▶ Wake on LAN 機能を使用する場合は、最新の LAN ドライバーをインストールしてください。

POINT

- ▶ 1000Mbps のネットワーク速度しかサポートしていないハブでは、Wake on LAN 機能は使用できません。
- ▶ Wake on LAN 機能を使用する場合は、次の両方でリンク速度とデュプレックス共に自動検出可能な設定（オートネゴシエーション）にしてください。

本製品の有線 LAN インターフェースと接続するハブのポートの両方が自動検出可能な設定になっていない場合、コンピューターが省電力状態や電源オフ状態のときにハブやポートをつなぎ変えたり、ポートの設定を変えたりすると Wake on LAN 機能が動作しない場合があります。

MAC アドレスパススルー機能

本製品の LAN アダプターは、MAC アドレスパススルー機能に対応しています。

MAC アドレスパススルー機能とは、コンピューターに接続している周辺機器の MAC アドレスを、コンピューターの MAC アドレスに自動で変更する機能です。

本製品の LAN アダプターを使用する場合、通常は本製品の MAC アドレスが使われます。

MAC アドレスパススルー機能を使用する場合は、接続するコンピューターが MAC アドレスパススルー機能に対応している必要があります。本製品を接続しているコンピューターの BIOS を設定することで、本製品の LAN アダプターの MAC アドレスを、コンピューターの MAC アドレスに自動で変更することができます。詳しくは、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

POINT

- ▶ ネットワークの接続が切れる場合は、接続しているコンピューターの MAC アドレスパススルー機能の設定による場合があります。
- ▶ MAC アドレスパススルー機能を有効にしたときは、複数の有線 LAN に同時に接続しないでください。詳しくは、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

6 コンピューター本体切替機能（KVM スイッチ）

1 組のキーボード、マウス、ディスプレイの接続先を切り替えて、複数のコンピューターを操作するための機器を KVM スイッチといいます。

本製品はコンピューター本体切替機能を搭載しているので、2 台のコンピューターと、1 組のキーボード、マウス、および LAN ケーブルを本製品に接続することで、コンピューターの表示を切り替えて使用できるようになります。

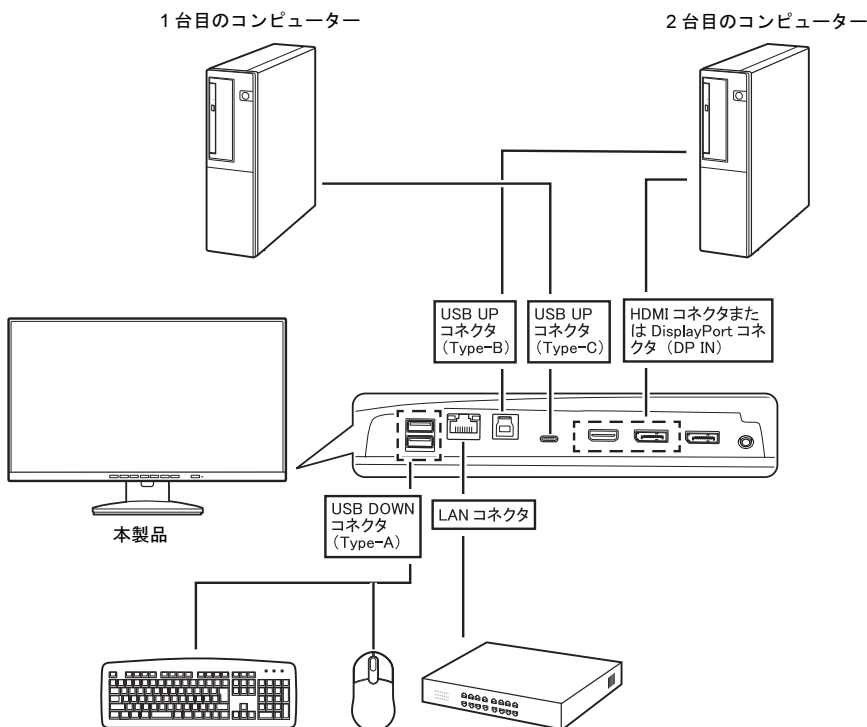
POINT

- ▶ 2 台のコンピューターのうち、1 台は必ず USB Type-C ケーブルを接続する必要があります。
- ▶ LAN ケーブルを本製品の LAN コネクタに接続すると、通信がコンピューター本体切替機能により、本製品に映像が表示されているコンピューターに切り替わります。

2 台のコンピューターを接続する

本製品に、2 台のコンピューター、1 組のキーボード、マウス、および LAN ケーブルを接続する方法を説明します。

< 接続例 >



- 1 台目のコンピューターは、USB Type-C コネクタ（DisplayPort Alternate Mode 対応）と本製品の背面にある USB UP コネクタ（Type-C）を、添付の USB Type-C ケーブルで接続してください。
- 2 台目のコンピューターは、HDMI コネクタまたは DisplayPort コネクタと本製品の背面にある HDMI コネクタまたは DisplayPort コネクタ（DP IN）を、添付の HDMI ケーブルまたは DisplayPort 信号ケーブルで接続してください。
また、USB コネクタと本製品の背面にある USB UP コネクタ（Type-B）を、添付の USB ケーブルで接続してください。
- キーボードとマウスは、本製品の背面にある USB DOWN コネクタ（Type-A）に接続してください。
- LAN コネクタに LAN ケーブルを接続してください。

表示するコンピューターを切り替える

USB UP コネクタ (Type-C) に接続したコンピューターの映像が、優先的に本製品に表示されます。DisplayPort コネクタ (DP IN) または HDMI コネクタに接続したコンピューターの表示に切り替えたい場合は、INPUT ボタンを長押ししてください。

「入力の切り替え」画面が表示されるので、プログレスバーがすべて塗りつぶされるまで、INPUT ボタンを押し続けてください。

プログレスバーがすべて塗りつぶされる前に、INPUT ボタンを離すと、OSD の入力メニューが表示されます。その場合は、 ボタンを押して、「HDMI」または「DisplayPort」を設定してください。

POINT

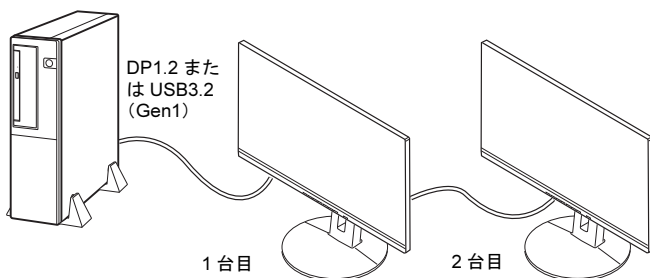
- ▶ 「HDMI」または「DisplayPort」の設定状態で、HDMI ケーブルまたは DisplayPort 信号ケーブルを取り外した場合、入力は「USB-C」に切り替わります。「USB-C」の設定状態で、USB Type-C ケーブルの取り外し、接続を行っても入力が切り替わることはありません。
- ▶ 「HDMI」または「DisplayPort」の設定状態で、USB Type-C ケーブルを取り外した後、接続した場合は、「USB-C」に設定が切り替わります。

7 デイジーチェーン機能

本製品には、コンピューターの DisplayPort 出力または USB Type-C 出力に最大 2 台のディスプレイを数珠つなぎに接続できるデイジーチェーン機能を搭載しています。

重要

- ▶ コンピューターが DP 1.2 または USB3.2 (Gen1) (DisplayPort Alternate Mode 対応)に対応していることを確認してから、デイジーチェーン機能を使用してください。未対応の場合、コンピューターがディスプレイを認識しなくなる可能性があります。
- ▶ 本製品に添付されている DisplayPort 信号ケーブルまたは USB Type-C ケーブルを使用してください。ただし、1 台目と 2 台目のディスプレイは、添付の DisplayPort 信号ケーブルを使って接続してください。
- ▶ 本製品以外のディスプレイで、デイジーチェーン機能は使用できません。
- ▶ OSD の「詳細設定」の「デイジーチェーン」は、DisplayPort または USB Type-C での映像信号入力時しか表示されません。HDMI 入力では表示されません。



1 次のどちらか片方のケーブルを使って、コンピューターと 1 台目のディスプレイを接続します。

- 添付の DisplayPort 信号ケーブルを使用する場合
コンピューターの DisplayPort コネクタと 1 台目のディスプレイの DisplayPort コネクタ (DP IN) を接続します。
- 添付の USB Type-C ケーブルを使用する場合
コンピューターの USB Type-C コネクタと 1 台目のディスプレイの USB UP コネクタ (Type-C) を接続します。

2 添付の DisplayPort 信号ケーブルで、2 台目のディスプレイの DisplayPort コネクタ (DP IN) と 1 台目のディスプレイの DisplayPort コネクタ (DP OUT) を接続します。

DisplayPort コネクタ (DP OUT) にキャップが付いている場合は、キャップを取り外してから DisplayPort 信号ケーブルを接続してください。

POINT

- ▶ デイジーチェーン機能を使用すると、他の信号送信元 (HDMI など) の自動検出は無効になります。
- ▶ コンピューターが本製品を正しく認識しない場合は、コンピューターを再起動してください。

8 PC- ディスプレイ電源連動機能

本製品は USB Type-C ケーブルでコンピューターと接続することにより、PC- ディスプレイ電源連動機能を使用することができます。

PC- ディスプレイ電源連動機能とは、ディスプレイの電源ボタンを押すことで、コンピューターの電源をオン／オフすることができる機能です。

「PC- ディスプレイ電源連動機能」が有効な状態で、本製品の電源ボタンを 2 秒以上押すと、コンピューターの電源ボタンを押したときの動作を実行します。

2 秒未満で本製品の電源ボタンを押したときでは、コンピューターのスリープボタンを押したときの動作を実行します。

重要

- ▶ 接続するコンピューターの USB Type-C コネクタが USB Power Delivery に対応している必要があります。
- ▶ PC- ディスプレイ電源連動機能により電源のオン、オフを切り替えるとき、動作の途中で USB Type-C ケーブルを抜かないでください。


USB Type-C ケーブルを抜くときは、ディスプレイの状態遷移が完了していることを確認し、完了後に行ってください。また、状態遷移中に電源ボタンを押さないでください。電源ボタンを押した場合、処理可能な状態に遷移します。ディスプレイの状態遷移については、「電源ランプについて」(→ P.34) をご覧ください。

- ▶ PC- ディスプレイ電源連動機能は、DisplayPort Alternate Mode 対応の USB Type-C コネクタを搭載した、本製品と接続可能なコンピューターでご利用いただけます。

DisplayPort Alternate Mode 対応の USB Type-C コネクタを搭載したコンピューターについては、「カタログ/システム構成図」のページ (https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/catalog_syskou/) の「カタログ」をご覧ください。

本製品と接続可能なコンピューターについては、「カタログ/システム構成図」のページ (https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/catalog_syskou/) の「ESRPIMO シリーズオプション品対応一覧」または「LIFEBOOK シリーズオプション品対応一覧」をご覧ください。

コンピューターの機種によっては、BIOS の設定が必要になります。

- ・ ノート型コンピューターでは、BIOS セットアップの「情報」メニューの「EC 版数」が 4.1.01 未満の場合は、「詳細」メニューの「各種設定」→「USB Type-C 充電設定」の「パソコン電源オフ時の動作」を「充電する」に設定してください。
 - ・ BIOS セットアップの「電源管理」メニューの「電源オフ時の USB 電源供給」を「電源 ON」、「ウェイクアップ設定」の「USB キーボード」を「使用する」に設定してください。
 - ▶ 「PC- ディスプレイ電源連動機能」を有効にすると、本製品の省電力モードでの消費電力が増加します。
 - ▶ コンピューターの電源ボタン、スリープボタンを押したときの動作は、必ず「電源ボタンを押すと、PC が」を「シャットダウン」に、「スリープボタンを押すと、PC が」を「スリープ」に設定してください。
 - ▶ PC- ディスプレイ電源連動動作は、本製品を表示状態にしている場合に有効です。
- 【】 + 【P】 キーを押すと、複数のディスプレイの表示方法を選択するメニューが表示されます。表示されたメニューから、本製品を使用する表示方法を選択してください。

POINT

- ▶ PC- ディスプレイ電源連動機能を使用すると、他の信号送信元(HDMIなど)の自動検出は無効になります。
- ▶ コンピューターの電源ボタン、スリープボタンを押したときの動作は、「スタート」ボタン→「設定」→「システム」→「電源」または「電源とバッテリー」→「電源とスリープ個のボタンコントロール」または「カバー、電源とスリープ個のボタンコントロール」を順にクリックし、表示された「電源ボタンを押すと、PC が」と「スリープボタンを押すと、PC が」で設定することができます。

設定する

- 1 本製品の背面にある **USB UP** コネクタ (**Type-C**) と、接続するコンピューターにある **USB Type-C** コネクタ (**DisplayPort Alternate Mode** 対応) を、**USB Type-C** ケーブルで接続します。

POINT

▶ INPUT ボタンを押し、「USB-C」が選択されていることを確認してください。

- 2 **MENU** ボタンを押し、メニューを表示します。
- 3 **↑** ボタンを **2** 回押し、**→** ボタンを押し、「詳細設定」サブメニューを表示します。
- 4 **↑** ボタンを **2** 回押し、「電源ボタン」を選択します。

POINT

▶ INPUT ボタンを押し、「HDMI」または「DisplayPort」が選択されている場合は、「電源ボタン」は表示されません。

- 5 **←** / **→** ボタンを押し、「コンピューター」に設定します。



- 6 **↺** ボタンを押し、設定を保存し、メニューに戻ります。

電源ランプについて

PC- ディスプレイ電源連動機能の使用時、本製品の電源ランプは、白色またはオレンジ色に点灯します。

PC- ディスプレイ電源連動機能の未使用時、本製品の電源ランプは、青色、緑色、またはオレンジ色です（→ P.35）。

コンピューターの状態	本製品の状態		本製品の電源ボタンを押したときの動作	
	画面表示	電源ランプ	2 秒未満	2 秒以上の長押し
電源オン（通常動作） ^{注1}	表示あり	白	コンピューターのスリープボタンを押したときの動作に移行	コンピューターの電源ボタンを押したときの動作に移行
映像出力オフ ^{注2}	表示なし	オレンジ	電源オン（通常状態）に移行	コンピューターの電源ボタンを押したときの動作に移行
スリープ状態	表示なし	白点滅 ^{注3}	電源オン（通常状態）に移行	
シャットダウン状態	表示なし	オフまたは白点滅 ^{注4}	電源オン（通常状態）に移行	

注1：コンピューターの電源がオンで、画面が表示されている状態です。画面が表示されていない「模様なし」のスクリーンセーバー状態を含みます。

注2：コンピューターの電源がオンで、「ディスプレイの電源を切る」が有効になっている状態です。

注3：USB Type-C ケーブルで接続されたコンピューターが省電力モードの場合、本製品の電源ランプの点滅によって、コンピューターの本機能に対するサポート状態を示します。

電源ランプの点滅状態	コンピューターのサポート状態
1秒間隔で点滅	本機能をサポートしています。
3秒間隔で点滅	本機能に制限があります。スリープ、シャットダウンからコンピューターを起動できない場合があります。

注4：接続するコンピューターによって電源ランプの動作が異なります。

9 省電力機能

本製品はコンピューターの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画像の表示を中断し、電力の消費を抑えます。

省電力状態では、画面の表示が中断し、本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かします。本製品は、コンピューターの制御に応じて、次の表に示すいずれかの状態に移行します。移行時には画面に「スリープモードに入ります」というメッセージが表示されます。省電力機能については、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

コンピューターの状態	本製品の動作					本製品の消費電力
	画面表示	本製品の電源供給元	電源ボタン	電源ランプ ^{注1}	ECO モード	
通常状態	表示あり	コンセント	オン	青	オフ	最大時：167W ^{注2}
				緑	オン	ECO モード「オン」時：21W以下 ^{注3}
映像出力オフ ^{注4}	表示なし	コンセント	オン	オレンジ	オン／オフ	省電力動作時：0.3W
スリープまたは休止状態	表示なし	コンセント	オン	オレンジ	オン／オフ	省電力動作時：0.3W
—	表示なし	コンセント	オフ	消灯	—	0.3W ^{注5}

注1：PC- ディスプレイ電源連動機能が有効な場合は、電源ランプの動作は、PC- ディスプレイ電源連動機能に従います。

注2：ECO モード「オフ」、スピーカー ON、USB 接続負荷最大、輝度最大時の状態です。

注3：ご購入時の状態での消費電力です。ECO モード「オン」、スピーカー OFF、USB 接続なしの状態です。

注4：コンピューターの省電力機能により画面の表示が中断されてから、スリープまたは休止状態に移行する前の状態です。

注5：電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントから抜くことにより0にすることができます。

10トラブルシューティング

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問い合わせ先にご相談ください。お問い合わせ先については、『取扱説明書』をご覧ください。

画面がおかしい





症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が明るすぎる	明るさの設定値が大きすぎる。	メニュー画面より、明るさを調整してください。	「明るさ / コントラスト」 (→ P.25)
画面が暗くなった	ECOモードが「ECOモードオン」になっている。	ECO ボタンを押して、「ECO モードオフ」に設定してください。	「ECO モード機能」 (→ P.16)
	明るさ自動調整がオンになっている。	明るさ自動調整をオフにしてください。	「人感 / 明るさセンサー機能」 (→ P.14) 「明るさ / コントラスト」 (→ P.25)
	液晶パネル内部の LED バックライトが、長期使用で暗くなっている。	有償にて交換させていただきます。詳しくは「富士通ハードウェア修理相談センター」まで連絡してください。	『取扱説明書』
画面の縦横比が崩れてしまう	コンピューターの設定が推奨解像度以外の解像度 (モード) になっている。	コンピューターの設定を推奨解像度 (モード) に設定してください。	「標準表示仕様」 (→ P.46) コンピューターのマニュアル
次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」	本製品に適切な信号が入力されていない。	コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度 (モード) に変更してください。	「標準表示仕様」 (→ P.46) コンピューターのマニュアル
文字の太さが場所によって異なる 画面の内容が大きくぼけて表示される	1920×1080よりも低い解像度 (モード) になっている。 デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので文字の太さが異なる場合がある。	コンピューターの解像度を 1920×1080 に設定してください。	コンピューターのマニュアル
電源投入直後やコンピューターの起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある	コンピューターからの信号が連続的に切り換わるために起こる。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—
表示画面にむらがある (もやもやしている)	液晶パネルの表面を押した。	本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。	「各部の名称と機能」 (→ P.10)

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
USB Type-C ケーブルの接続時に画面が表示されない	USB Type-C ケーブルを素早く抜き差しした。	USB Type-C ケーブルを抜き差しするときは、ケーブルを抜いた後5秒以上待ってから再度接続してください。	—

画面が調節できない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
メニュー画面の自動調整より調整ができず、次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	メニュー画面の情報表示で、現在表示されている解像度（モード）を確認し、コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」（→ P.46） コンピューターのマニュアル

音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない。	ミュートがオンになっている。	メニュー画面より、ミュートをオフにしてください。	「オーディオ」（→ P.24）
	音量が小さすぎる。	メニュー画面より、音量を調整してください。	「オーディオ」（→ P.24）
	コンピューターの音量設定が最小になっている。	適切な音量に調整してください。	コンピューターのマニュアル
	コンピューターの音量設定がミュートになっている（画面右下の通知領域に  と表示されている）。	キーボードの Mute（消音）ボタンを押すか、画面右下の通知領域の  をクリックして音量つまみを表示し、  をクリックして  にしてください。	コンピューターのマニュアル
	ディスプレイが省電力モードになっている。	省電力時には音声出力をやめる仕様となっております。	「省電力機能」（→ P.35）
スピーカーからブツブツという雑音が聞こえる。	本製品の近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、トランシーバーなどを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	—
電源投入時などに「ブチッ」とノイズ音がする。	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—

その他

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
ディスプレイの電源ボタンでコンピューターの電源を制御できない。	PC- ディスプレイ電源連動機能がオフになっている。	メニュー画面より、「電源ボタン」を「コンピューター」に設定してください。	「PC- ディスプレイ電源連動機能」(→ P.32)
	コンピューターとの接続が USB Type-C ケーブルで行われていない。	コンピューターとの接続を USB Type-C ケーブルで行ってください。	「各部の名称と機能」(→ P.10)
	コンピューターの BIOS 設定で、パソコン電源オフ時の動作が「充電しない」になっている。	コンピューターの BIOS 設定を変更してください。 「詳細」メニュー→「各種設定」→「USB Type-C 充電設定」→「パソコン電源オフ時の動作」を「充電する」に設定してください。	コンピューターのマニュアル
	接続しているコンピューターが PC- ディスプレイ電源連動機能に対応していない。	PC- ディスプレイ電源連動機能に対応したコンピューターを接続してください。	「PC- ディスプレイ電源連動機能」(→ P.32)
	接続しているコンピューターの USB Type-C コネクタが DisplayPort Alternate Mode に対応していない。	コンピューターとの接続を、DisplayPort Alternate Mode に対応した USB Type-C コネクタにしてください。	コンピューターのマニュアル
	コンピューターの電源ボタン、スリープボタンを押したときの動作が、下記設定になっていない。 ・「電源ボタンを押すと、PC が」を「シャットダウン」 ・「スリープボタンを押すと、PC が」を「スリープ」	コンピューターの電源ボタン、スリープボタンを押したときの動作を設定し直してください。	「PC- ディスプレイ電源連動機能」(→ P.32)
	複数のディスプレイを使用している場合に、本製品を表示しない状態になっている。	本製品を使用する表示方法に、設定を変更してください。	「PC- ディスプレイ電源連動機能」(→ P.32)
コンピューターの切り替えができない (KVM スイッチ)。	USB ケーブルまたは USB Type-C ケーブルが接続されていない。	USB ケーブルおよび USB Type-C ケーブルを接続してください。	「コンピューター本体切替機能 (KVM スイッチ)」(→ P.28)
ネットワーク通信ができない	LAN ケーブルが接続されていない。	LAN コネクタに LAN ケーブルを接続してください。	「各部の名称と機能」(→ P.10)
	USB ケーブルまたは USB Type-C ケーブルが接続されていない。	USB ケーブルまたは USB Type-C ケーブルを接続してください。	「各部の名称と機能」(→ P.10)
	OS に対応した LAN ドライバーがインストールされていない。	接続しているコンピューターの OS に、対応した LAN ドライバーをインストールしてください。	「最新の LAN ドライバーをダウンロードしてインストールする」(→ P.13)

11 日常のお手入れ

清掃する

お手入れの前に本製品の電源を切り、本製品の各ケーブルをコンセントまたはコンピューターから抜いてください。

重要

- ▶ 化学ぞうきんや市販クリーナーは、次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、使用しないでください。
 - ・アルカリ性成分を含んだもの
 - ・界面活性剤を含んだもの
 - ・アルコール成分を含んだもの
 - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
 - ・研磨材を含んだものなど
- ▶ 本製品を清掃するときには、傷が付くのを防ぐため次の点にご注意ください。
 - ・柔らかい布をご使用ください。
 - ・力を入れすぎないようにしてください。
- ▶ 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

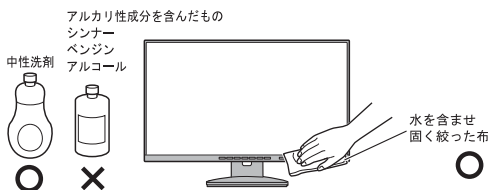
□ 画面

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。



□ カバー

水または中性洗剤を含ませ、固く絞った布で拭いてください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸して固く絞った布で、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取るときは、本製品に水が入らないように充分注意してください。



□ 人感／明るさセンサー

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。

12 リサイクル

■本製品の廃棄について

本製品の廃棄については、「ICT 製品の処分・リサイクル方法」のページ（<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/recycleinfo/>）をご覧ください。

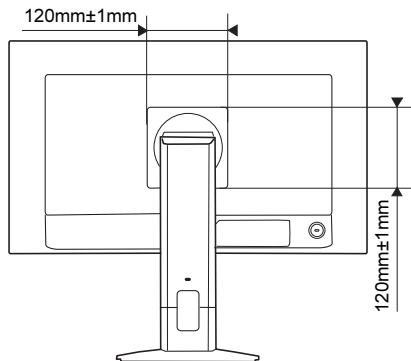
アームまたは壁掛けキットの取り付け方法

本製品はスタンドを取り外して、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットを取り付けることができます。

ドライバーをご用意ください。

重要

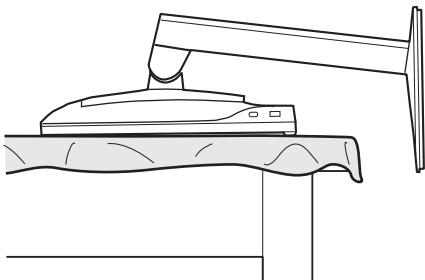
- ▶ 本製品に取り付けるアームまたは壁掛けキットは、VESA FDMI 規格に適合したものをお選びください。
- ▶ 本製品に取り付けられるアームまたは壁掛けキットは、次の条件を満たしている必要があります。
 - ・ 取り付け部分のネジ穴の間隔が 100mm×100mm である
 - ・ M4×10mm のネジで、取り付けができる
 - ・ 6kg の重さに耐えられる
- ▶ ネジは、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットに添付されているもの（M4×10mm）を必ず使用してください。
- ▶ アームまたは壁掛けキットに含まれるディスプレイ取り付け用のブラケットが120mm×120mmを超える大きさの場合は、取り付けられないことがあります。



- ▶ ネジは最後までしっかりと締めてください。取り付け方が不十分な場合、外れて落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- ▶ アームまたは壁掛けキットを取り付けおよび設置するときは、アームまたは壁掛けキットのマニュアルもご覧ください。

- 1すでにケーブルを接続している場合は、いったんすべてのケーブルを取り外します。

- 2** カバー／液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。

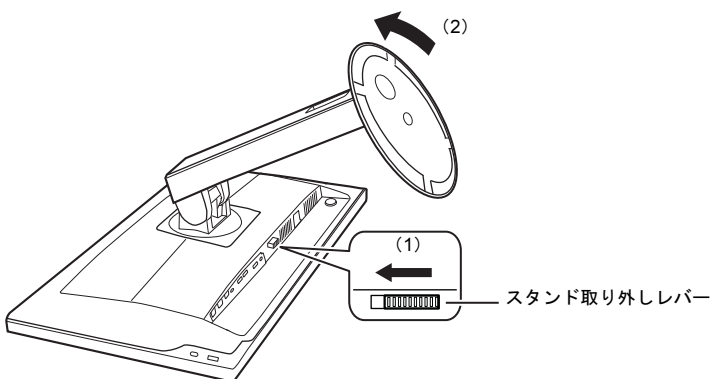


- 3** スタンドを取り外します。

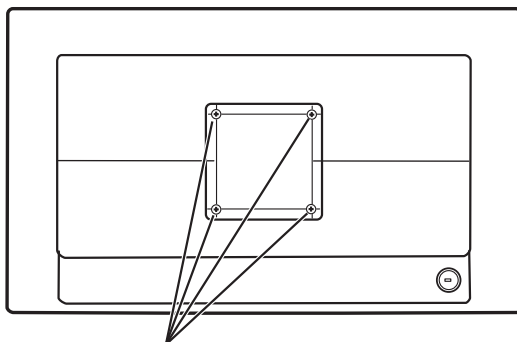
(1) スタンド取り外しレバーを左側にスライドさせたまま、(2) スタンドを取り外します。

⚠ 注意

- ・ スタンドを必ず手で持って作業してください。スタンドの落下により、破損、けがのおそれがあります。



4 ネジ（4ヶ所）を外します。



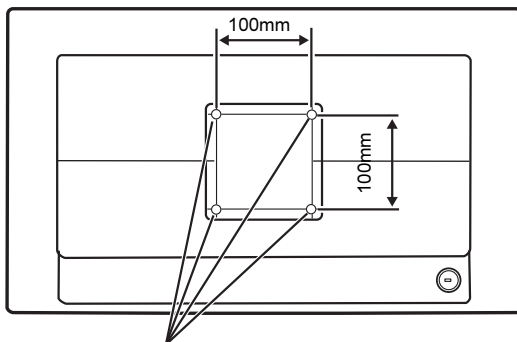
ドライバーでネジを外す（4ヶ所）

POINT

▶ 取り外したスタンドとネジは、スタンドの使用時に必要ですので、大切に保管してください。

5 本製品をアームや壁掛けキットに取り付けます。

本製品のアーム、壁掛けキット固定用ネジ穴（4ヶ所）に、アームまたは壁掛けキットのネジ穴を合わせ、アームまたは壁掛けキットに添付されているネジ4本（M4×10mm）で取り付けてください。



アーム、壁掛けキット固定用ネジ穴

6 アームまたは壁掛けキットを設置した後、ケーブルを接続します。

POINT

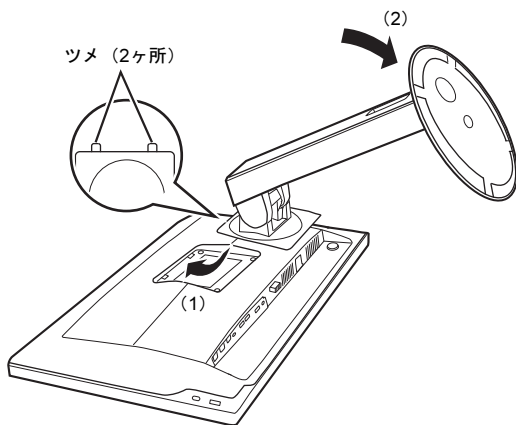
▶ アームまたは壁掛けキットを設置した後で、本製品背面のコネクタにケーブルを接続できない場合は、アームまたは壁掛けキットを設置する前にケーブルを接続してください。

■取り外したスタンドを取り付ける

取り外したスタンドを取り付ける場合には、次の方法で行います。

1 取り外したネジ（4ヶ所）を取り付けます。

2 (1) スタンド上部のツメ（2ヶ所）を引っ掛け、(2) スタンドを取り付けます。



14 仕様

本体仕様

項目		仕様
入出力 1/F (コネクタ)	USB UP コネクタ (Type-C) 注1 注2	映像信号：デジタル、DisplayPort Alternate Mode (HDCP/DPCP 対応)、USB 3.2 (Gen1) 準拠
	DisplayPort コネクタ	映像信号：デジタル、DisplayPort (HDCP/DPCP 対応)
	HDMI コネクタ	映像信号：デジタル、HDMI (TMDS/HDCP 対応)
	USB 注1	USB 3.2 (Gen1) 準拠 Type-C DOWN コネクタ ×1 注3 USB 3.2 (Gen1) 準拠 Type-B UP コネクタ ×1 USB 3.2 (Gen1) 準拠 Type-A DOWN コネクタ ×3 注4
	LAN コネクタ注5 注6 (RJ-45)	1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T 準拠注7、Wake on LAN 対応
	ヘッドホン出力端子 (φ3.5 ステレオミニジャック)	音声信号：ステレオ
	DDC	VESA DDC 2B (DDC/CI 対応)
表示部	画面サイズ	23.8 型 (対角 60.47cm)
	表示寸法	527.04mm (H) ×296.46mm (V)
	液晶パネル	TFT カラー液晶、In-Plane-Switching (IPS)、LED バックライト
	解像度	1920×1080 ドット
	画素ピッチ	0.2745mm×0.2745mm
	表示色	1677 万色
	輝度	250cd/m ²
	コントラスト比	1000:1
	応答速度	6ms (標準) / 4ms (高速) (動画モード、カスタムモード時)
	視野角	上下 178°、左右 178°
機能	表示モード	640×480、720×400、800×600、1024×768、1280×1024、1440×900、1600×900、1680×1050、1920×1080
	プラグ&プレイ	DDC 2B/CI (VESA) 注8
	チルト	下 3° ~ 上 35°
	スイーベル	左右 172.5°
	壁掛け	100mm×100mm (VESA 規格対応)
電源	入力	AC100V 50/60Hz (入力波形は正弦波のみサポート)
	最大消費電力	167W
	ECO モード「オン」時消費電力	21W 以下
	最小消費電力 (省電力動作時注9)	0.3W
	電源ボタン「オフ」時注10	0.3W
音声部	最大出力	2.0W/ch
	スピーカー	ステレオ
	再生周波数帯域 (ユニット)	100Hz ~ 20kHz
外形寸法		539mm (W) ×213mm (D) ×337~483mm (H)

項目		仕様
質量		約 6.2kg (本体) 約 4.3kg (表示部)
使用環境	温度	5 ～ 35 ℃
	湿度	10 ～ 90% (RH) (結露しないこと)

- 注 1: ・すべての USB 対応周辺機器の動作を保証するものではありません。
・接続した USB 3.2 (Gen1) 対応機器の転送速度は最大 5Gbps (理論値)、USB 2.0 対応機器の転送速度は最大 480Mbps (理論値) です。
- 注 2: USB Power Delivery による電源出力(最大 95W(20V,4.75A))に対応しています。映像入力に対応しています。
- 注 3: USB 3.2 (Gen1) 準拠のポートについて、外部から電源が供給されない USB 対応周辺機器を接続するときの消費電流の最大容量は、1 ポートにつき 3.0A です。詳しくは、USB 対応周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- 注 4: USB 3.2 (Gen1) 準拠のポートについて、外部から電源が供給されない USB 対応周辺機器を接続するときの消費電流の最大容量は、1 ポートにつき 900mA です。詳しくは、USB 対応周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- 注 5: MAC アドレスパススルー機能に対応しています。
- 注 6: USB Type-C ケーブルまたは USB ケーブルを使用して、コンピューターから本製品内蔵 LAN をフロー制御付きのハブに接続して使用する場合、通信中に USB Type-C ケーブルまたは USB ケーブルを抜くと、まれに同ハブに接続された他のコンピューターが通信不能になることがあります。
これは本製品内蔵 LAN とコンピューターが切断されたことでデータの授受ができず、他のコンピューターが待たされるためです。この場合、LAN ドライバーのフロー制御を「無効」に設定することにより、本現象は回避されます。
- 注 7: ・1000Mbps は 1000BASE-T の理論上の最高速度であり、実際の通信速度はお使いの機器やネットワーク環境により変化します。
・1000Mbps の通信を行うためには、1000BASE-T に対応したハブが必要となります。また、LAN ケーブルには、1000BASE-T に対応したエンハンストカテゴリ 5 (カテゴリ 5E) 以上の LAN ケーブルを使用してください。
・LAN コネクタは、コンピューターとは USB 経由で接続されています。そのため、本製品が接続されているコンピューターで、大量の高速通信を行っている場合、LAN の通信速度が落ちることがあります。
・電気通信事業者の基幹設備へ直接回線接続するための技術適合認定は取得していません。
- 注 8: 本製品は、VESA (Video Electronics Standards Association) の DDC/CI (Display Data Channel Command Interface) 規格に対応しています。
- 注 9: コンピューターで設定した自動的にディスプレイの電源を切る時間が経過して、スピーカーを使用せず、明るさを特に調整しない状態での使用を想定しています。電源ランプがオレンジ色の状態です。
- 注 10: 電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントから抜くことにより 0 にすることができます。

標準表示仕様

本製品には、ご購入時に次のような表の解像度 (モード) の調整値が登録されています (走査方式がインターレースの信号は対応していません)。

○ : 表示可能 ◎ : 推奨解像度 (モード)

No	解像度 (モード)	水平周波数	垂直周波数	極性 (H/V)	表示可能解像度 (モード)		
					DisplayPort	HDMI	USB-C
1	720×400	31.469kHz	70Hz	(- / +)	○	○	○
2	640×480	31.469kHz	60Hz	(- / -)	○	○	○
3	640×480	37.5kHz	75Hz	(- / -)	○	○	○
4	800×600	37.879kHz	60Hz	(+ / +)	○	○	○
5	800×600	46.875kHz	75Hz	(+ / +)	○	○	○
6	1024×768	48.363kHz	60Hz	(- / -)	○	○	○
7	1024×768	60.023kHz	75Hz	(+ / +)	○	○	○
8	1280×1024	63.981kHz	60Hz	(+ / +)	○	○	○
9	1280×1024	79.976kHz	75Hz	(+ / +)	○	○	○

No	解像度 (モード)	水平周波数	垂直周波数	極性 (H/V)	表示可能解像度 (モード)		
					DisplayPort	HDMI	USB-C
10	1440×900	55.935kHz	60Hz	(- / +)	○	○	○
11	1600×900	60kHz	60Hz	(+ / +)	○	○	○
12	1680×1050	65.29kHz	60Hz	(- / +)	○	○	○
13	1920×1080	67.5kHz	60Hz	(+ / +)	◎	◎	◎

重要

- ▶ 上表以外の解像度 (モード) にコンピューターを設定すると、正常に表示されなくなる場合があります。
- ▶ 1920×1080 以外の解像度 (モード) では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったり、縦横比が異なって画像などにゆがみが発生することがあります。これは、擬似的に拡大表示 (全画面表示) しているためであり、故障ではありません。
- ▶ 上表の解像度 (モード) であっても、スキャンコンバーターで表示された NTSC 信号については表示品位を保証するものではありません。

コネクタ仕様

■ デジタル (DisplayPort コネクタ)

端子配列表				端子配列図
No.	信号	No.	信号	
1	Main Link lane3(n)	11	GND	
2	GND	12	Main Link lane0(p)	
3	Main Link lane3(p)	13	Config1	
4	Main Link lane2(n)	14	Config2	
5	GND	15	AUX channel(p)	
6	Main Link lane2(p)	16	GND	
7	Main Link lane1(n)	17	AUX channel(n)	
8	GND	18	Hot Plug Detect	
9	Main Link lane1(p)	19	Return	
10	Main Link lane0(n)	20	DP Power	

■ HDMI コネクタ

端子配列表				端子配列図
No.	信号	No.	信号	
1	TX2+	11	Shield (TXC)	
2	Shield (TX2)	12	TXC-	
3	TX2-	13	CEC	
4	TX1+	14	Reserve	
5	Shield (TX1)	15	SCL	
6	TX1-	16	SDA	
7	TX0+	17	GND (DDC/CEC)	
8	Shield (TX0)	18	+5V Power	
9	TX0-	19	Hot Plug Detect	
10	TXC+			

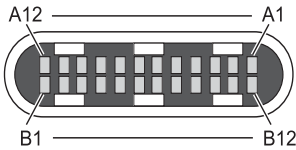
■ USB コネクタ

☐ Type-A/Type-B

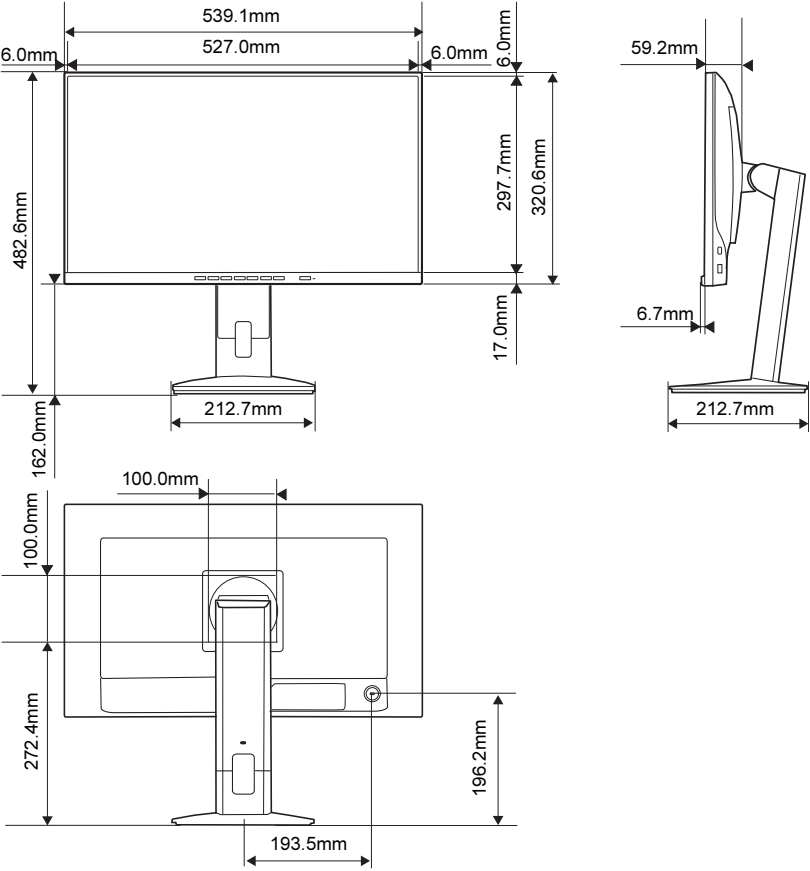
端子配列表				端子配列図	
No.	信号	No.	信号	Type-A	Type-B
1	VBUS	5	StdA_SSRX-		
2	D-	6	StdA_SSRX+		
3	D+	7	GND_DRAIN		
4	GND	8	StdA_SSTX-		
		9	StdA_SSTX+		

☐ Type-C

端子配列表				端子配列図
No.	信号	No.	信号	
A1	GND	B1	GND	
A2	SSTXp1	B2	SSTXp2	
A3	SSTXn1	B3	SSTXn2	
A4	VBUS	B4	VBUS	
A5	CC1	B5	CC2	
A6	Dp1	B6	Dp2	
A7	Dn1	B7	Dn2	
A8	SBU1	B8	SBU2	
A9	VBUS	B9	VBUS	
A10	SSRXn2	B10	SSRXn1	
A11	SSRXp2	B11	SSRXp1	
A12	GND	B12	GND	



外形図



DISPLAY P2415 (VL-P2415) 補足情報

B6FY-6171-01 Z0-00

発行日 2026 年 1 月
発行責任 富士通株式会社

〒 211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中 4-1-1

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。